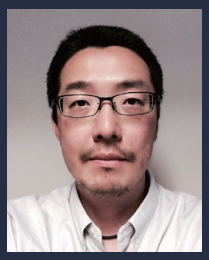


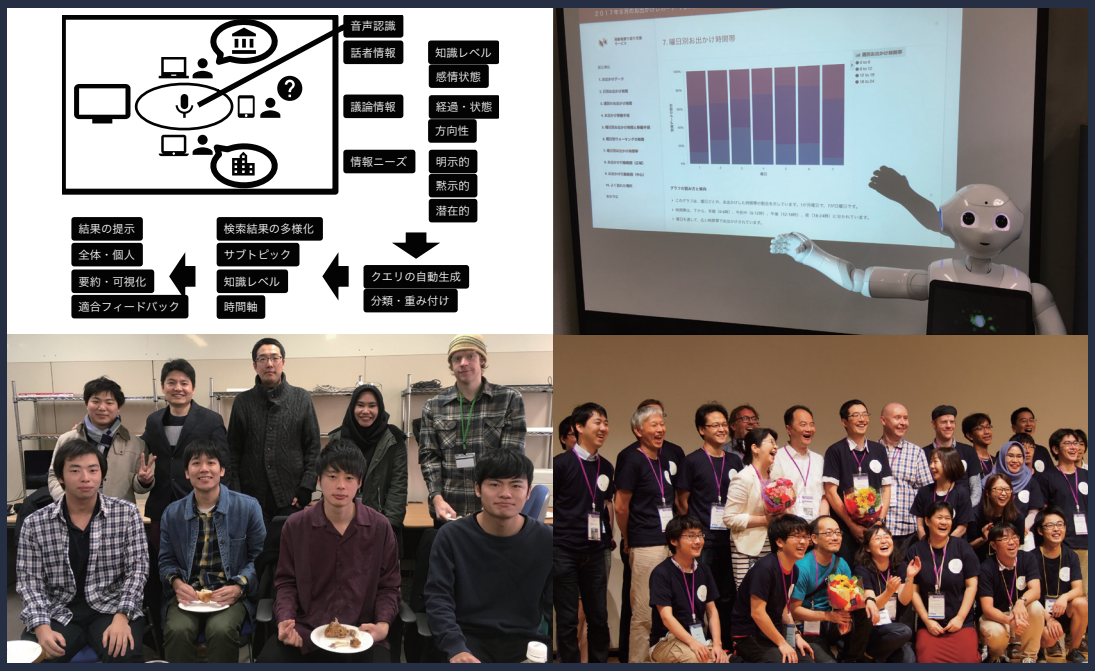
上保秀夫 Hideo JOHO
准教授 Associate Professor
博士 (Information Studies) Ph.D.
Keywords: 情報検索、人間情報インタラクション
Contact: hideo@slis.tsukuba.ac.jp
Web: http://www.slis.tsukuba.ac.jp/~joho.hideo.gb/

Graduate School of Library, Information and Media Studies
筑波大学 University of Tsukuba

研究概要

サーチエンジンに代表される情報検索システムとユーザのインタラクションを、認知・行動・感性の側面から分析し、新しい検索手法の開発に応用する研究を行なっています。近年では特に、スマートスピーカーやチャットボットなど自然言語による会話を主体としたインタラクション空間において、情報検索プロセスを最適化させる手法について取り組んでいます。また、スマートフォンやスマートウォッチなどのウェアラブル端末によって収集される個人ライフログデータへのアクセス手法についても取り組んでおり、子どもや高齢者を対象としたデータリテラシ教育への応用を視野に入れた研究を行なっています。将来的には、IoT 機器が収集・発信する多様な外部データとユーザ固有のライフログデータを有機的に統合したネットワーク空間において、ユーザとシステムが自然言語を介した混合主導による情報検索やデータ理解を実現することが目標です。詳しくは個人ウェブサイトをご覧ください。

www.slis.tsukuba.ac.jp



論文

1) Johanne R. Trippas, Damiano Spina, Lawrence Cavedon, Hideo Joho, Mark Sanderson: Informing the Design of Spoken Conversational Search. CHIIR 2018: 32-41.
2) Hideo Joho, Lawrence Cavedon, Jaime Arguello, Milad Shokouhi, Filip Radlinski: CAIR'17: First International Workshop on Conversational Approaches to Information Retrieval at SIGIR 2017. ACM SIGIR Forum 51 (3), 114-121 (2018).
3) Sosuke Shiga, Hideo Joho, Roi Blanco, Johanne R. Trippas, Mark Sanderson: Modelling Information Needs in Collaborative Search Conversations. SIGIR 2017: 715-724.
4) Cathal Gurrin, Hideo Joho, Frank Hopfgartner, Liting Zhou, Duc-Tien Dang-Nguyen, Rashmi Gupta and Rami Albatal: Overview of NTCIR-13 Lifelog-2 Task. NTCIR 2017: 6-11.

社会貢献活動

近年、オープンデータやオープンサイエンスなど、研究成果のみならず研究過程で蓄積されたデータを公開し、より多くの利益を社会に還元していくことが推奨されています。情報検索分野では、実験結果の再現性を担保するために、1990年代から既に公開・共有を前提とした研究データ構築を実践してきました。ISR 研究室も、外部資金等を得て、情報アクセス技術評価のための研究データを複数構築・公開しています。詳しくは関連情報をご覧ください。

メッセージ

ISR 研究室は、我々の生活に欠かせないサーチエンジン技術の研究開発や、ユーザの情報検索行動分析などに興味がある学生を幅広く募集しています。我々は、情報検索分野の主要国際会議や国際学術誌に多くの論文を発表するのみならず、国際研究コミュニティを牽引する活動や、国内外の研究室や企業との共同研究も精力的に行なっています。留学生も多く国際色豊かな研究室で、一緒に世界最先端の研究に取り組みましょう。詳しくは、研究室ホームページをご覧ください。

関連情報サイト

1) https://isrtsukuba.github.io/